

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報  
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft  
NO 13  
2019・7・7

1 ドイツ農村景観連盟：農村景観デーを開催（2019・7・4）

ー湿地はドイツの伝統的な景観でかつ気象を保護ー

ドイツ農村景観連盟（DVL）は、2019年7月4日～6日まで、チューリングゲンで伝統的な農村景観デーを開催した。”共同の景観を生き生きと形成”のモットーのもとに、牧場での家畜飼育、昆虫の保護そして共同の湿地ー気象保護の観点が、議論の焦点になっている。

政務次官ミヒャエル シュトープゲンは、歓迎の挨拶でもってこのイベントを幕開けし、そして意義を強調した。”湿地の干拓は、過去のドイツにおいて公的機関によって支援されてきた。だがしかし、今日排水とこの土壌の集中的な利用は、気象ー環境ー自然保護の社会的目的と、しばしば対立を生じている。特に排水された湿地土壌は、温室効果ガス放出の重要な源である。この対立の解決と有機的な湿地土壌の改善された保護対策は、全社会的な課題である。

湿地土壌保護のための政策は、一面的ではなく現在の土地所有者ー利用者に、負担をかけてはならないことが重要である。我々は連邦環境省、各州とともに、まさに効果的な湿地土壌保護を発展させること。そして土地所有者と連携し、そして農業ー林業上の利用でもって、負担をかけないことを視点に入れる、そんな方法を模索している。なぜならば、湿地保護は気象保護であるから。”

**背景：**

干拓された湿地は、温室効果ガス放出の重要な源である。干拓された湿地における有機物質の分解によって、毎年3800万tのCO<sub>2</sub>ー当量が放出される。現在、ドイツにおいて約130万haの湿地面積が農業利用のもとにある。そのため、連邦政府の「2050気象保護プラン」は、湿地保護の連邦ー各州ー目的協定の締結を計画している。同時に今ある湿地面積を保護すべきである。

つまり、湿地を大事にする水管理における投資のための刺激を創り出し、そしてその土地に適した管理形態（例えば湿地農業）を奨励する。社団法人農村景観連盟（DVL）は、ドイツにおける約 170 の農村景観連盟、バイオ研究所そして似たようなグループの非営利上部組織である。DVL の首脳部は、農業、自然保護そして政治分野からの代表で 1/3 を占めている。ドイツ連邦食料・農業省は、DVL を 468 000 ユーロ（約 6 084 万円）で奨励している。DVL は、この景観保護デーに多くのドイツ人を招いている。

## 2 連邦大臣：乳児一幼児のお茶に砂糖添加禁止規則を提案

一子供用既成食品の糖分削減一革新戦略次の歩み一（2019・6・30）

昨年末に既成食品の中のものより少ない砂糖、脂肪そして塩について、クレックナー大臣から国内削減一革新戦略が、閣議で決定された。同時に部分的に砂糖、脂肪、塩の高すぎる割合の多くが、効果的に減少されるべきである。この戦略において、乳児一幼児用お茶の中の砂糖と他の甘い添加物の禁止が規定される。

さらにクレックナー大臣：“最初から砂糖の入った飲み物の消費は、カリエス、後の太りすぎまたは肥満症（脂肪過多）の危険を高める。これは明らかに関連がある。乳児として既に味に慣れている子は、無糖に対して喜びが殆どない生活に入る。乳児の生活の中で最初の 1000 日が、決定的である。馴染んだ食物習慣を、後に変更させることは難しい。

そのため、可能な限り早く良き成長のために、正しい方向に転換することが重要であり、かつ正しい。我々の子供たちを守るために、このことは連邦大臣として特に重要である。私は乳児一幼児食への砂糖と他の甘い調味料の添加を禁ずる。甘い食品は小さな子供達に不要である。多くの親たちは、乳児のために特別に与えるお茶を買う時に、子供たちに幾分良いことをしていると考えている”と、連邦大臣は続けた。

彼らはその中に添加した甘いものが、含まれていることを全く知らない。そのため、我々は親と世話する人に乳児用食品を購入する時に、正しいことを早急に知るようにしたい。

## 計画している規則案

- 1 砂糖、蜂蜜、果汁（濃縮液）、麦芽エキスまたは乳児一幼児用お茶のために他の作物原料から得られた濃縮ジュースの添加禁止
- 2 購入者または使用者に対して義務づけられた砂糖と他の甘いものを付加したものの提供または準備を断念すべきとの注意書き
- 3 年齢に関係した食物に使用可能な表示規準 乳児用の母乳補充食は最低制限年齢に相応して最低 4 カ月 その基準は調理しなければならない食品も飲用可能な飲み物についても有効

なぜならば、独立マックス ループナー研究所が作成した市場展望が示していること。ティーバック、粉末または粒状としての” 伝統的な提供形態” と並んで、主たる添加物としてのお茶または果物ジュースの飲用できる飲み物を与えることとしている。これは、規則案に同じく含まれている。

” 私はこのテーマが気にかかっている。子供の栄養研究所施設と乳児の授乳奨励のための我々の責務は、最初の 3 年間にバランスのとれた栄養を、特に強化するための決定的な歩みである。我々はこの灯台プロジェクトでもって先行する” と、大臣は強調した。” さらに以前無かったような、食品包装の表側への簡単な栄養価表示も含まれている。消費者は夏の抽出アンケートに基づき、どのような表示が最も分かりやすいかを決定する。

### 3 近代的な職業教育・第 34 回農業コンクール受賞者を表彰

(2019・6・27)

政務次官は、第 34 回職業コンクールの受賞者を、ドイツ農業青年 2019 年で表彰した。連邦食料・農業省政務次官ミヒャエル シュトープゲンが、今日 34 回農村青年職業コンクールで優勝者を表彰した。政務次官は、緑の職業における後継者コンクールの重要性を強調した。

“農業コンクールは、特別な方法で農業の職業の多様性の情報提供のため、そして農村地域における広報活動のため、重要な貢献を果たしている。このコンクールは、実施条件のもとに後継者の人間的な判断能力と専門的知識もテストし、そして改善する。そのため、関心あるそして責任の重い職業のために、若い人々を育てることは現代的な職業教育の必須な要素である。” 全体的に「高品質で信頼、将来一農業を実践」のモットーのもとに、今年の職業コンクールが実施された。

連邦全体でワイン、畜産、農業、家政、林業の各部門から、10 000 万人の後継者がその能力・技術を立証した。バイエルン州のヘルシングにおける連邦最終段階に際して、成果多い州としてバイエルン州が、家政、林業、農業の部門で、1～3位のベスト3に6人、それに続くのがニーダーザクセン州が家政と農業で3人、チューリンゲン州で畜産と林業で3人が席を得た。

### **背 景：**

第34回2019ドイツ農村青年職業コンクールが、連邦食料・農業省クレックナー大臣の後援のもとに開催された。主催者である社団法人ドイツ農業者連盟と社団法人ドイツ農村青年同盟、社団法人農村青年職業コンクールは、連邦食料・農業省の財政から奨励されている。農業団体と農業学校の支援でもって、このコンクールは2年毎に実施される。州での代表者決定の後、連邦段階での決定がされる。表彰式はドイツ農業者デーの際に行われる。

2019・7・5 訳

青森中央学院大学

中川 一徹